

中央の森式番街
管理組合ニュース
31期第3号(通算第16号)
発行日:2012/8/16



1) ケヤキの枯れ枝落下で車に被害、難しい対処

樹木に囲まれた「緑豊かな集合住宅」は、中央の森式番街のプラスのイメージですが、良いことばかりではありません。ときには、繁茂したケヤキの枯れ枝や葉っぱの付いた小枝が、強風などであおられて駐車区画の上に落下し、車の屋根やボンネットを傷つけてしまうケースや、ケヤキの樹液やカラスの糞が車を汚してしまうことも少なくありません。

植物の生命活動や台風、強風などの自然現象には、抜本的な対策はないのですが、理事会として出来るだけの対処はし

ています

通常の植栽保守の剪定に加えて、年に2回、特にケヤキの枯れ枝落としの作業を業者に発注し、さらに駐車場近くのケヤキについては、環境整備担当の専門委員や植栽ボランティアが目配りして、随時、枯れ枝落としを東コミにも頼んでいます。7月にも実施しました。

2年に1回の駐車区画抽選で、必ずどなたかが樹木の下に当たるだけに、被害が減る方向を探りたいと思います。

2) 「救急医療情報」キットを組合で配布へ

志木市が「65歳以上の一人暮らしの方に限り、本人または代理人が申請すれば手渡す」と広報していた「救急医療情報」キットが、肝心の高齢者に行き渡らず、市が製作発注した1,840個のうち1,400個が、倉庫に眠ったままとなっていました。

典型的なお役所仕事で、このままでは、まさに税金のムダ使いです。4か月前に広報「しき」で案内し、町内会に普及協力をお願いしていたというのが市役所の言い分ですが、本当にこのキットが必要な方に行き渡るような具体的努力がなされた形跡はありません。

そもそも、一人暮らしの高齢者（ないし代理人）に対して、「役所の窓口によっ

て来て、申請すれば分けてやる」といった高飛車な姿勢こそが、間違いの始まりでしょう。

そこで、市の高齢者ふれあい課に直接、「65歳以上一人暮らしが対象、申請者（ないし代理人）に限る」といった制限条項の撤廃を申し入れ、必要な数だけまとめて組合ないし町内会に、キットを引き渡すよう求めました。

いろいろ軋轢はありましたが、結論から言うと、当方の言い分は通り、市は大きく譲歩し、取りあえず50個のキットを入手できました。防災専門委員会が中心となって、万一の際の高齢者対策を兼ね、必要とする方々に個々に手渡して行こうと思います。

3) 「思い出のカセットテープ」

近頃、音楽をCD、デジタルデータで聞くようになり、いつの間にか使わなくなったカセットテープ。アナログビデオで撮影した子供たちの成長記録も、デジタル化とともに再生手段を失い、DVDへダビングして保存、廃棄される運命となったビデオテープ。或る日、処分しようと思った時は、ジャケットや歌詞の印刷物と曲目やタイトルなどを書いた手書きのやや厚手のラベルは雑紙へ、プラスチックケースはプラスチック専用の緑のネットへ、カセットテープやビデオテー

プ本体（磁気テープ込み）は不燃物用の緑の箱へ分けて出してください。

思い出の音楽や記録を最後まで大事に扱っていただけたらと思います。



4) 盛会だったゴルフ同好会の第1回大会

中式ゴルフ同好会の第1回定例会は7月11日（水）、長野県のプレジデントカントリー倶楽部軽井沢で開かれ、40名近い会員中31名が参加する大盛会となりました。実は5月にも、同じようにバスを仕立てて同じ場所でこの会の開催を試みたのですが、時ならぬ雷雨に見舞われ中断のやむなきに至った経緯があり、今回はいわばベンジの会。今度は快晴、気温20度、そよかぜという絶好のコンディションに恵まれ、一日ゴルフを満喫できました。

パー72のコースで新ペリア方式によるコンペ。優勝は西濱宏子さん（グロス85）、準優勝は瀧波三男さん（グロス73）。この会是他街区からの参加にも開かれているのが特色ですが、もちろん大多数は中式の住民。第2回の例会は11月初旬を予定していますので、入会希望の方は苗代強会長（4-307）までご連絡ください。

電話＝471－5783。

メルアド＝nawa244@wh2.fiberbit.net



「中式ゴルフ同好会」